陳情第１９号

安心・安全な医療・介護の実現等を求める意見書提出を求める陳情書

（陳情趣旨）

２０２０年の新型コロナウイルスによるパンデミック（感染爆発）は、日本国内でも大きな影響を広げました。経済活動や国民生活にも深刻な影響を及ぼすと共に、「医療崩壊」などが現実のものとなりました。

この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足とともに、それらを担っている医療機関の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所の不足問題などです。

これらの教訓を生かし、国民のいのちと健康、暮らしを守るとともに、新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むために、関係機関に対し、下記の事項を盛り込んだ意見書を提出していただきますようお願いいたします。

記

１　今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉への財源確保と人員確保に向けた取り組みを行うこと。

２　公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。

３　保健所の増設･保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。

４　社会保障にかかわる国民的負担を増やさないこと。

令和３年１１月１０日

陳情者

[redacted]

流山市議会議長　森　亮二　様